

授業概要

美術教育の歴史的な変遷をたどることで、初等教育における図画工作科の意義を理解する。また学習指導要領を読解することを通して、現代の小学校図画工作科の目的を理解する。以上の理解に立って、表現や鑑賞に関わる活動内容の具体的なあり方を検討する。また、授業の組み立て方などについて学習したうえで、実際に学習指導案を作成し、児童が主体的に関わることのできる魅力ある授業づくりを考える。

授業計画

第1回	授業ガイダンス
第2回	戦後美術教育は何を課題としてきたのか？（1）創造美育協会
第3回	戦後美術教育は何を課題としてきたのか？（2）新しい絵の会
第4回	現代の図画工作科が目指すもの—学習指導要領の読解
第5回	図画工作科の内容と指導（1）「造形遊び」①映像視聴
第6回	図画工作科の内容と指導（1）「造形遊び」②各学年の活動内容と指導のポイント
第7回	図画工作科の内容と指導（2）「絵や立体、工作に表す」①映像視聴
第8回	図画工作科の内容と指導（2）「絵や立体、工作に表す」②各学年の活動内容と指導のポイント
第9回	図画工作科の内容と指導（4）「鑑賞」①映像視聴
第10回	図画工作科の内容と指導（5）「鑑賞」②各学年の活動内容と指導のポイント
第11回	学習指導案の作成方法、指導案作成の課題提示
第12回	授業の組み立て方（年間指導計画）と評価について
第13回	作成した学習指導案に基づくグループ討議
第14回	グループ討議の成果発表
第15回	子どもが主体的に関わる魅力ある授業づくりとは（グループ討議の成果を総括する）
第16回	テスト

到達目標

小学校図画工作科の意義と目的を理解する。小学校図画工作科の教育内容・方法について理解する。児童が主体的にかかわることのできる魅力ある授業を自分なりに構想する。

履修上の注意

遅刻3回で欠席1回として扱う。30分以上の遅刻は欠席扱いとする。評価対象となる提出物は、授業内で視聴した映像についてのレポート（感想文）や学習指導案等、授業に参加しなければ作成できないものばかりなので、特別な事情がない限り欠席しないよう心がけること。授業中の無断途中退出、私語や携帯電話の操作など、学習態度としてふさわしくない行為はしないように。

予習・復習

事前学習は、授業内容に関連するテキストを読み、疑問点を明らかにするよう心がけること。事後学習は、授業内容を整理した上で、ポイントとなる点について自分なりの考えをまとめておくこと。

評価方法

提出物50%、テスト50%の割合で評価する。

テキスト

『小学校学習指導要領解説—図画工作編』（文部科学省）